

田沼ゼミ（3年次演習・4年次卒論演習）のご紹介

☆時間割上開講は後期月曜日5限ですが、授業は相談して通年的にやっています！ 担当教員：田沼 茂紀

◆田沼ゼミテーマ：「学校・教師・子どもを取り巻く現代の教育諸課題を考える」

研究領域は教育学（教育学・教育思想、道德教育学、教育カリキュラム論を中心に教育課題全般を幅広く）

♥ゼミテーマの設定理由

私たちにとって、「教育」という言葉はあまりにも日常化し、空気のような存在となっています。日本国憲法第26条「教育を受ける権利」を引用するまでもなく、国民の誰しも一定期間は学校に通い、義務教育という共通の「学校体験」をもっていることから、教育の日常性は容易に理解できると思います。

ただ、一括りに語られる「教育」ですが、その社会的システムが内包する諸課題は根深く、正に現代社会の縮図そのものともなっています。これらに通底する学校病理（いじめ、不登校、学校不適応、学習意欲低下、人間関係構築力不足等々）をどう理解し、どう意味づけ、どう得た知見を教育実践に援用していくのかという教職専門性の土台となる部分を本演習では探求したいと考えます。

演習に際しては、PBL（Problem Based Learning）方式による自己課題解決型の課題探求手法を活用していきます。つまり、これまで教育インターンシップや教育実習等を通じて身に付けてきた学校での指導スキルを「根っこで支える教職専門性（生涯折れない・くじけないトータルな教師力）」形成を目指します。

《ゼミ運営基本方針》 *令和元年度教採は全員合格でした。GPAでなく、本気になれる人が素晴らしいです。

方針Ⅰ：ゼミは自分の夢を叶えるための人生を学ぶ場である。

★ゼミは互いの夢を実現するために支え合う人生学びの活動集団です。ですから全員がゼミ長としての自覚をもって臨み、互いの夢実現を目指して磨き合いができるように自分らしい方法で貢献し合ひましょう。

方針Ⅱ：ゼミで知り合った人間関係は人生の宝物である。

★ゼミでの研究活動は進路対策も含めてゼミOBや上級生もいろいろと関わってくれます。つまり、ゼミ活動を通して社会人としての感覚を磨くのです。もちろん、そこでのファミリーな関係は「信頼」と「共感」です。何かを強要されたり、上下の関係性を求められたりすることは一切ありません。

方針Ⅲ：ゼミ活動は相互の信頼と合意形成に基づく自主運営である。

★普段のゼミ運営、教採対策のための自主ゼミ、異年齢による集团的学びの場としての各種催事やゼミ合宿（前年度は学校参観訪問や地域教育文化研鑽のために1回目は広島、2回目は日光臨地研修）等はすべて自分達の活動方針や目標の共有と合意形成とによって自主的に運営します。

[ゼミ指導概要：教職を進路として目指すことを前提にしたテーマ追求型授業を展開します]

- ① 教職志望学徒として、自分が日頃考えている学校教育への疑問点、問題点を明確化する。
- ② 自分が感じる疑問点や問題点、さらにはその周辺にある教育課題をリサーチする。
- ③ リサーチしたことを相互に発表し合い、討論し合い、問題点を整理・再検討する。
- ④ 発表・討論した疑問点や問題点を踏まえて設定した自己課題を説明し、他の批評を受ける。
- ⑤ 自己課題について繰り返し発表し、その都度他の批評を受けて再考する。
- ⑥ 自己課題を探求するための見通しやその問題点（課題探求を阻む要因）を明確化する。
- ⑦ 自己課題解決に向けての研究手続きとその課題解決方法を発表し、他の批評を受ける。
- ⑧ リサーチ、発表、討論を丁寧に繰り返すことで自己課題を明確化させると共に、他者の発表から得た知見や論点、探求手法等を取り入れながら自らのパースペクティブを拓げる。
- ⑨ 追求してきた自己課題について再度整理して発表し、他の批評を受けながら研究を仕上げる。
- ⑩ 今後の自己課題解決に向けた探求方法（文献、調査等）も明確にして卒論を仕上げる。

♥受講生への要望：「玉琢（みが）かざれば器を成さず、人学ばざれば道を知らず」です。基本的に月曜日は5限or4限から通年活動しますので、渋谷での副免履修計画方法については事前に相談してください。